

令和 6（2024）年度

FD・SD 活動報告書

大阪河崎リハビリテーション大学

FD・SD 委員会

目 次

はじめに	2
活動の概要	3
1. 2024 度 FD・SD への取り組み理念・目的	3
2. FD・SD 活動の組織・体制	3
3. 活動実績	4
4. FD・SD 研修会記録	7
5. 授業評価アンケート分析結果	14
FD・SD 委員会規程	18

《はじめに》

本学を取り巻く厳しい状況の中、2024年度も多くのご協力を得て、大学にとって最も重要な教育と、それを支える教職員の教育法・資質向上を目的としたFD・SD活動を実施しました。本報告書は、FD・SD研修会の実施内容や授業評価集計結果をまとめたもので、教職員の教育・研究活動の参考として各層で有意義にご活用いただければ幸いです。

本学では2007年度より、開講授業に対し受講者による評価を開始しています。2024年度も、学生や非常勤を含む教員の協力、事務職員の尽力により、集計・報告をまとめることができました。厚く御礼申し上げます。

授業評価の目的は、教育の中心である授業の質を高めることにあります。学生の評価は、成績等への影響がないよう十分配慮した上で集計しました。本報告書には質問項目別の全体集計結果を記載しており、各科目別の詳細は個別にフィードバックが可能です。ただし、現時点では科目別結果の公表には至っていません。

先生方には、全体平均と比較しながら自身の授業運営を見直し、可能であれば残りの授業にも反映していただくことを期待しています。授業評価を通して、学生からの受け止め方を自己評価し、さらなる改善と自己研鑽に努めていただきたいと思います。

2025年度も、引き続き遠隔授業に関する項目を継続して評価を行う予定です。評価の蓄積が授業改善に役立ち、教員にとっては授業設計や運営の再考、学生にとっては授業への主体的な取り組みを促す機会になればと期待しています。授業の質の向上とともに、より良い教育環境の実現を目指します。

アンケートの取りまとめと報告書の作成はFD・SD委員会が担当し、実施は学務係、分析はIR室の協力を得て行いました。最後に、委員の皆様、担当職員の方々に心より感謝申し上げます。

2025年5月

FD・SD委員会
委員長 塚本 能三

活動の概要

1. 令和6年度FD・SDへの取り組み理念・目的

建学の精神「夢と大慈大悲」、教育理念「知育」と「人間性を育む」を達成するために、FD・SD活動を通じて教育・研究活動等を活性化させる。

大学全入時代に突入し、本学学生が学力不足であることは否めない。専門にとらわれず、大学生として（あるいはセラピストとして）求められる基礎的な学習技能や学修態度（論理的思考、批判的思考）について大学教育を通じて培う必要がある。

そのため、教職員の教育・研究活動等の能力向上を図る必要がある。FD・SD研修や授業評価等を行い、授業の内容及び方法の改善等を目的とする。

以上の理念・目的から、教職員は本研修に必ず参加することとする。

2. FD・SD活動の組織・体制

FD・SD委員会を中心に実施し、各種委員会と適宜連携して取り組む。

3. 活動実績

(1) 2024 年度 FD・SD 研修会実績

令和 6 年度は以下のテーマで全 7 回の FD・SD 研修会を開催した。欠席者に対しては、研修内容の研修動画の配信及び資料の配布によるフォローアップを行った。

回	日程	テーマ	参加者数
第 1 回	4 月 9 日	建学の精神と事業計画 「24 卒募集振返りと入試状況報告」 ((株) リクルート)	教員 36 名 職員 30 名
第 2 回	6 月 18 日	学生面談(カウンセリング)における認知行動 療法の活用方法 自己紹介を含めた研究発表 2023 年度 授業評価フィードバック	教員 34 名 職員 27 名
第 3 回	8 月 6 日	コンプライアンス教育 研究倫理教育 科研費説明	教員 41 名 職員 33 名
第 4 回	10 月 8 日	大学機関別認証評価の实地調査について 大学の将来構想ワークショップ	教員 36 名 職員 30 名
第 5 回	11 月 26 日	「大学の将来構想について」 「アクティブ・ラーニングの実例、授業で使え る ICT の応用」 (慶応義塾大学 石川さと子 先生) 2024 年度前期授業評価フィードバック	教員 35 名 職員 31 名
第 6 回	オンライン 研修	2025 年度シラバスについて	教員 23 名 職員 7 名
第 7 回	オンライン 研修	学修支援委員会報告 2024 年度本学大学院活動の報告	教員 24 名 職員 17 名

(2) 学生による授業評価アンケート

① 対象授業科目

以下の科目を除く全科目を対象に実施

(臨床見学実習、臨床実習概論、臨床検査・測定実習、臨床基礎実習、臨床総合実習Ⅰ、臨床評価実習、臨床総合実習Ⅱ、臨床総合実習、卒業研究、卒業論文)

② 実施時期、方法

期末、web形式で実施

③ アンケート項目

「5. 授業評価アンケート分析結果」参照

④ フィードバック

個別フィードバック及びFD・SD研修会による全体のフィードバック

⑤ 回収率 (回収授業科目数 / 対象授業科目数)

前期：54% 後期：40.7%

回答率 (回答数 / 履修人数)

前期：69.1% 後期：41.7%

⑥ 各分析結果

「5. 授業評価アンケート分析結果」参照

(3) 「教員が英語で講義をするのに役立つスキルを身に付ける」研修コース

- ・ 講 師 野口ジュディー先生
- ・ 講義回数 5日間 全10コマ
- ・ 講義内容 英語による講義を提供するために必要なノウハウを学ぶ。
【特に English for Specific Purposes の理念に基づいて、AI、機械翻訳、
文献検索などの IT 技術を活用したスキルを修得する】
- ・ 受講人数 18名

	日程	時間	講義	ワークショップ
第1回	8月21日 (水)	14:40- 16:10	講義の組み立て方、ESP の概念 と実践	自己紹介、発音の練習 ムーブ分析
第2回		16:20- 17:50	アメリカと日本のレクチャーの 違い	ニュースのレシテーション とプロソディーの練習
第3回	8月28日 (水)	14:40- 16:10	講義を上手く進めるコツ 学生の理解度を高める工夫	自分の専門分野の ニュース紹介
第4回		16:20- 17:50	The 3MT Thesis スライド、資料の準備の仕方	自分の研究の3MTプレゼ ンテーションの準備
第5回	9月4日 (水)	14:40- 16:10	ディスカッションの進め方 3MT presentations with Q&A	全員の3MT プレゼンテ ーションと Q&A
第6回		16:20- 17:50	レクチャーの分析方法	自分のレクチャーの分 析とプランニング
第7回	9月11日 (水)	14:40- 16:10	レクチャーの実践とディスカッ ション	ミニレクチャーの実 践とディスカッション
第8回		16:20- 17:50	レクチャーの実践とディスカッ ション	ミニレクチャーの実 践とディスカッション
第9回	9月18日 (水)	14:40- 16:10	レクチャーの実践とディスカッ ション	ミニレクチャーの実 践とディスカッション
第10回		16:20- 17:50	評価について：ポートフォリオや 学生同士の評価やフィードバック	評価についてのディ スカッション

4. FD・SD 研修会記録

【研修会記録】

司会：村上 達典

研修会名	2024 年度 第 1 回 FD・SD 研修会
実施日時	2024 年 4 月 9 日（火）10：40～12：10
場所	1 号館 3 階 第 1 中講義室
受講者数	【教員】36（4）名 【職員】30（7）名 計 66 名 ※当日欠席者にはオンデマンド動画を配信、Forms で受講確認（ ）の数字はオンデマンド受講者、内数

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
建学の精神と事業計画	武田学長	武田学長から別添の資料をもとに建学の精神と令和 6 年度の事業計画について説明があった。
2024 年度入試分析のご報告と貴学の今後の学生募集に向けて	株式会社リクルート	株式会社リクルートから、2024 年度の入試傾向及びリハビリテーション分野の志願状況等について報告があり、続いて本学における募集の結果の振り返りと他大学の実例を用いて今後の学生募集について提案があった。

【配布資料】

- ・ 令和 6 年度 事業計画書
- ・ 2024 年度入試分析のご報告と貴学の今後の学生募集に向けて

司会：上田 有紀人

研修会名	2024 年度 第 2 回 FD・SD 研修会
実施日時	2024 年 6 月 18 日（火）10：40～12：10
場所	1 号館 4 階 第 2 中講義室
受講者数	【教員】34（5）名 【職員】27（6）名 計 61 名 ※当日欠席者にはオンデマンド動画を配信、Forms で受講確認（ ）の数字はオンデマンド受講者、内数

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
学生面談（カウンセリング）における認知行動療法の活用方法	大嶋 学科長	資料をもとにワークショップ形式を含んだ講義をしていただいた。
研究発表 （2024 年着任教員）	作業療法学専攻 増澤 達彦 先生	「精神科作業療法発展に向けた取り組み」のタイトルで自己紹介を含んだ研究発表があった。
2023 年度 授業評価フィードバック	大嶋 FD・SD 委員長	2023 年度の授業評価アンケート集計結果について説明があった。

【配布資料】...Teams で共有

- ・学生面談（カウンセリング）における認知行動療法の活用方法
- ・2023 年度 授業評価フィードバック
（参考資料・配布のみ）
- ・教職員のためのガイドブック 発達障害のある学生 - 理解と対応 -
- ・成人期の ADHD の認知行動療法ワークショップ

司会：河野 良平

研修会名	2024 年度 第 3 回 FD・SD 研修会
実施日時	2024 年 8 月 6 日（火）10：40～12：10
場所	1 号館 4 階 第 2 中講義室
受講者数	【教員】41 名 【職員】33 名 計 74 名

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
コンプライアンス教育 －研究費の適正使用について－	防止計画推進室 亀井 事務局長	令和 6 年度コンプライアンス教育についてスライドをもとに講義があった。
研究倫理教育	中村 研究倫理委員長 谷 総務係員	研究倫理審査委員長から研究倫理教育についてスライドをもとに講義があった。続いて事務局から研究倫理審査の申請方法について説明があった。
科研費説明	中西 総務係長	令和 7 年度における科研費公募についてスライドをもとに主な申請についての変更点や学内締め切り日等について説明があった。
本学の科研費取得状況について	武田 学長	令和 6 年度科研費採択状況について報告があった。また近隣競合大学との科研費取得状況の比較も併せて説明があった。

【配布資料】

- ・ 令和 6 年度コンプライアンス教育（研修）－研究費の適正使用について－
- ・ 研究倫理について
- ・ 研究倫理審査について
- ・ 令和 7(2025) 年度 科学研究費助成事業の公募について

司会：白岩 圭悟

研修会名	2024 年度 第 4 回 FD・SD 研修会
実施日時	2024 年 10 月 8 日（火）10：40～12：10
場所	1 号館 4 階 第 2 中講義室
受講者数	【教員】36（7）名 【職員】30（9）名 計 66 名 ※当日欠席者にはオンデマンド動画を配信、Forms で受講確認（ ）の数字はオンデマンド受講者、内数

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
認証評価について	坪田 自己点検・評価室長	スライドをもとに本年度受審中の認証評価のスケジュールについて説明があった。また実地調査のスケジュールおよび面談対象者について説明があった。
大学の将来構想ワークショップ	FD・SD委員会 （進行：白岩 圭悟）	①大学をより良くするためのアイデアをグループで1つ発表 ② 学生満足度向上のための施設改修案について優先順位を付ける（河瀬総務課長から改修案について説明有り） 上記2項目の内容について、くじ引きで9つの班に分け、グループワークを実施し、各班がそれぞれ発表を行った。

【配布資料】

- ・ 認証評価について・実地調査スケジュール・面談スケジュール・面談者リスト（案）

司会：坪田 裕司
大嶋 伸雄

研修会名	2024 年度 第 5 回 FD・SD 研修会
実施日時	2024 年 11 月 26 日（火）10：40～12：10
場所	1 号館 3 階 第 1 中講義室
受講者数	【教員】35（8）名 【職員】31（6）名 計 66 名 ※当日欠席者にはオンデマンド動画を配信、 （ ）の数字はオンデマンド受講者、内数

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
本学の将来構想について	河崎理事長・武田学長	令和 8 年度に向けて大学名称変更、新専攻設置等の発表があり、検討の過程や新たな中期計画について説明があった。目標を共有した。
アクティブラーニングの実例、授業で使える ICT の応用	特別講師： 慶應義塾大学 薬学部 薬学教育研究センター 教授 石川 さと子 先生	スライドを利用して慶應義塾大学薬学部でのアクティブラーニングの実例、ICT の活用方法及び評価方法等をご紹介いただいた。
令和 6 年度前期授業評価アンケート 集計結果について		資料配布のみ （令和 6 年度後期授業評価集計アンケート集計と一緒に報告する。）

【配布資料】

- ・学校法人河崎学園 中期計画(2025-2027)目標，
大学名称変更について,新専攻設置について
- ・アクティブラーニングの実例、授業で使える ICT の応用
- ・令和 6 年度前期 授業評価アンケート 集計結果について

研修会名	2024 年度 第 6 回 FD・SD 研修会
実施日時	
場所	オンライン研修（動画配信）
受講者数	【教員】23 名 【職員】7 名 計 30 名

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
2025 年度のシラバスについて	岡田教務委員長	シラバスの作成にあたり、私立大学等改革総合支援事業の選定に関わる項目について説明があった。

【配布資料】なし

研修会名	2025 年度 第 7 回 FD・SD 研修会
実施日時	2024 年 3 月 12 日（火）10：40～12：10
場所	オンライン研修（動画配信）
受講者数	【教員】24 名 【職員】17 名 計 41 名

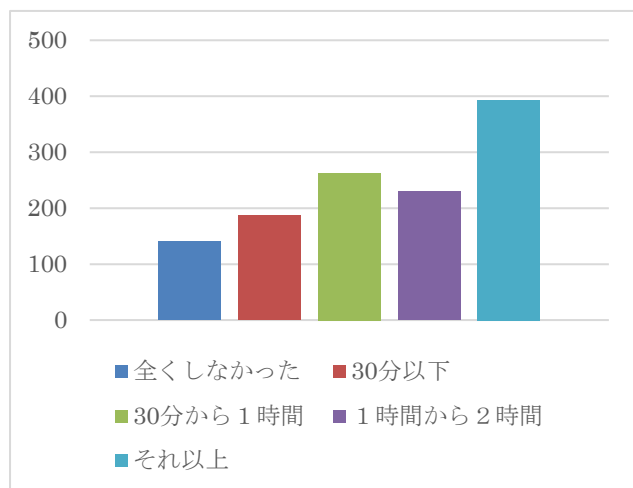
研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
2024 年度 大学院活動の報告	中村研究科専攻長	2025 年度の大学院活動及び学生授業評価アンケート結果の詳細や M1 生、M2 生の活動等についてそれぞれ報告があった
学修支援委員会報告 -保護者等説明会について-	久利学修支援委員長	入学前教育での保護者等説明会の実施について報告があった。

【配布資料】なし

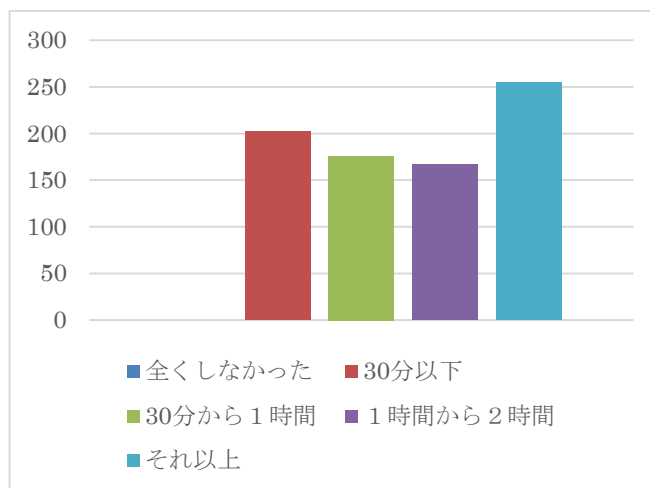
5. 授業評価アンケート分析結果

- この授業の予習・復習・レポートの作成等に1週間で何時間取り組みましたか。

【前期】

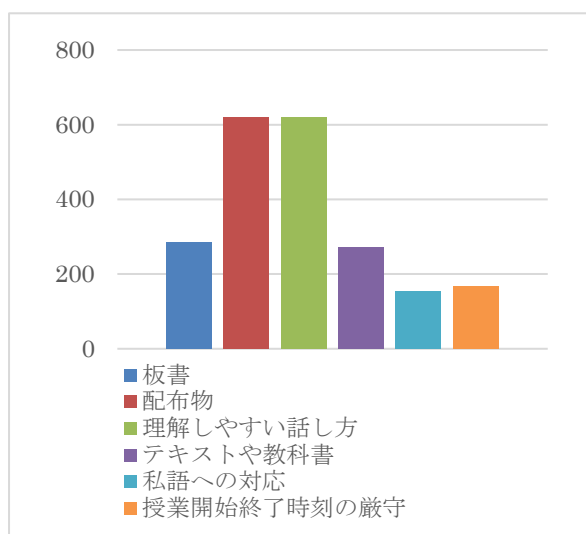


【後期】

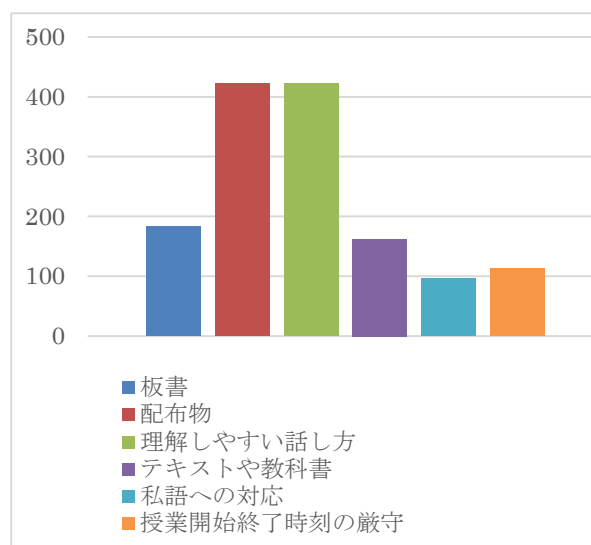


- この授業で良かった点を全て選んでください。

【前期】

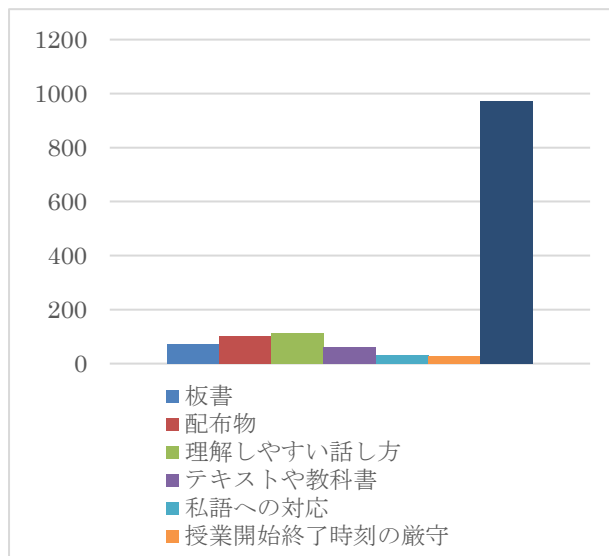


【後期】

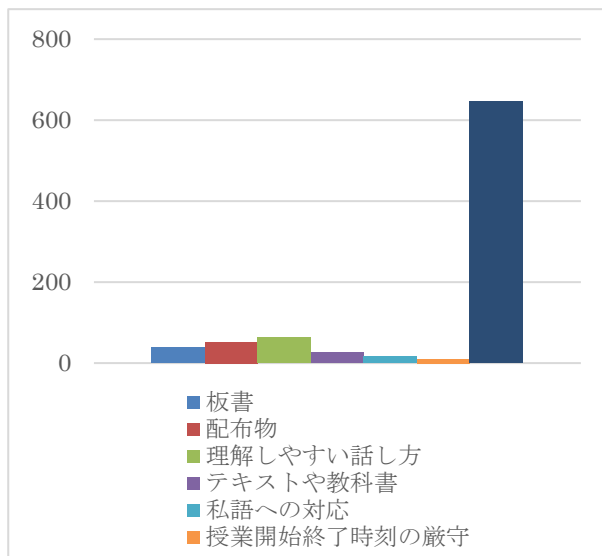


3. この授業で改善してほしい点を全て選んでください。

【前期】

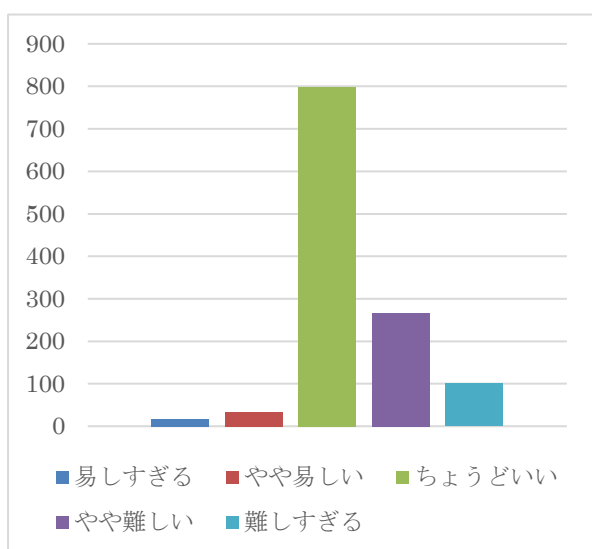


【後期】

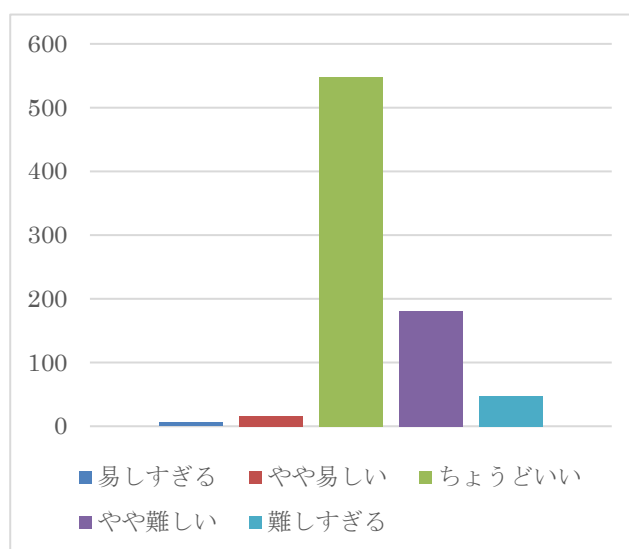


4. 授業の難易度は適切で理解可能な範囲でしたか。

【前期】

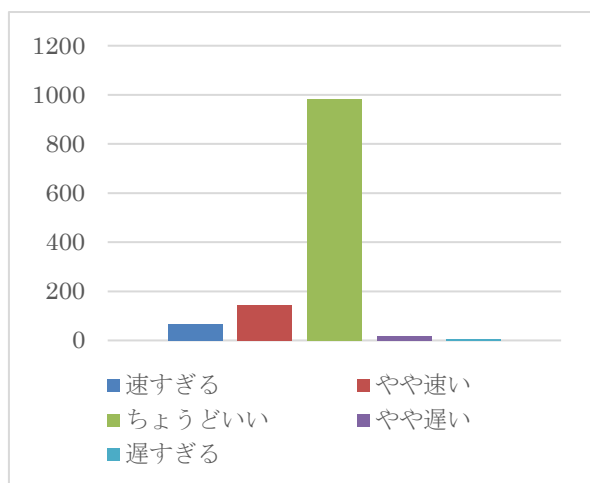


【後期】

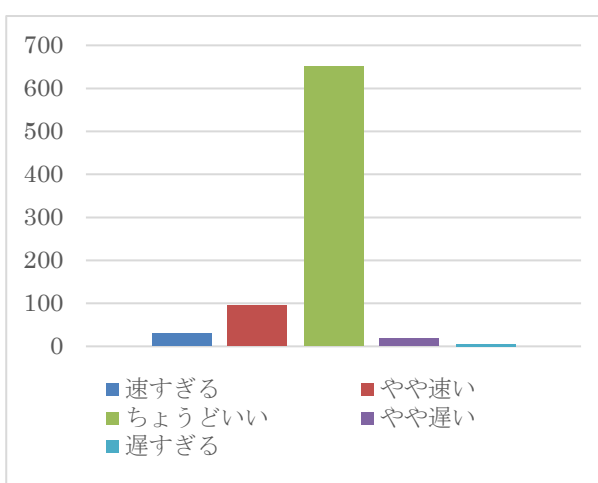


5. 授業の進度は適切でしたか

【前期】

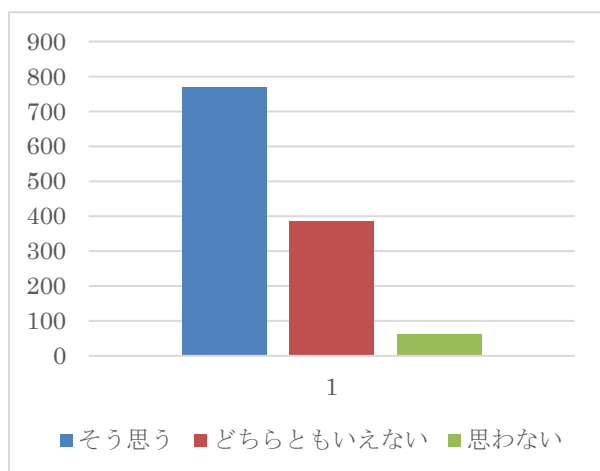


【後期】

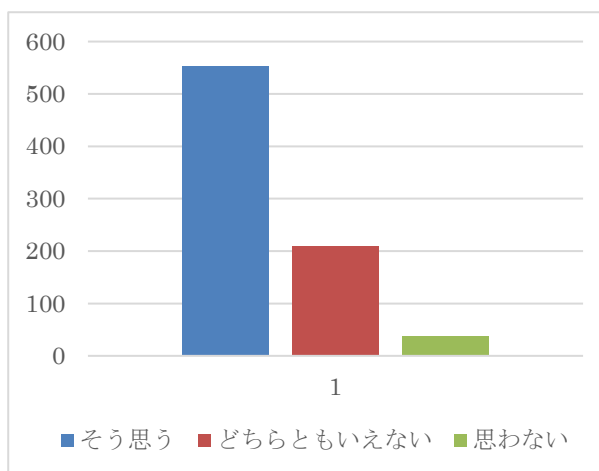


6. 教員は学生に授業への参加（質問・発言・自主的学習）を促し、質問や討論に十分に対応していましたか。

【前期】



【後期】



7. Teams を使った授業（オンライン授業）について
自由に記載してください。

内容	前期	後期
肯定的意見等	16 件	0 件
改善要望等	6 件	0 件

8. その他コメントや感想を記入してください。

内容	前期	後期
肯定的意見等	954 件	198 件
改善要望等	128 件	50 件

※大学院授業評価アンケートは別紙参照

平成 29 年 9 月 19 日

大学規程第 5 号

(設置)

第 1 条 大阪河崎リハビリテーション大学（以下「本学」という。）は、本学の建学の精神及び教育理念の実現に向け、ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）及びスタッフ・ディベロップメント（以下「SD」という。）を積極的に推進するために、FD・SD 委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

第 2 条 委員会は、本学の教育・研究内容及び教育方法の向上及び教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るための教職員の能力並びに資質向上のため、全学的な取組みを推進することを目的とする。

(組織)

第 3 条 委員会は次の構成員で組織する。

(1) 学長が任命した者 5 名程度

(学部及び研究科の各専攻の教員 1 名以上を含む)

(2) 事務職員 若干名

2 事務職員は、学長、事務局長の協議に基づき、学長が指名する。

3 委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。

4 委員に欠員が生じた場合は、これを補充しなければならない。ただし、後任者の任期は前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第 4 条 委員会に、委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は委員の中から学長が指名する。

3 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

4 委員長に事故又は支障があるときは、副委員長がその職務を代行する。

5 委員長が必要と認めた場合は、委員以外の教職員の出席を求め、意見を聴取することができる。

6 委員長は重要な事項については教授会に提案し、了承を求めなければならない。

(協議事項)

第 5 条 委員会は、次の事項を協議する。

- (1) FD・SD 研修の企画・実施
- (2) 学生による授業評価の結果分析及びフィードバックに関すること
- (3) FD・SD 活動に関する情報の収集と提供に関すること
- (4) その他 FD・SD の推進に関すること

2 前号第 1 号に規定する FD・SD 研修の実施に当たり、委員は講師候補者推薦書(様式第 1 号)を委員長に提出することができる。

(会議)

第 6 条 委員会は、委員の 3 分の 2 以上の出席がなければ会議を開くことができない。

2 議決を要する事項については、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(事務)

第 7 条 委員会の事務は、総務係が行う。

(改廃)

第 8 条 この規程の改廃は、教授会に諮り、学長が行う。

(補則)

第 9 条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

1 この規程は、平成 29 年 10 月 1 日から施行する。

2 この規程の施行に伴い、平成 17 年 12 月 5 日施行の「大阪河崎リハビリテーション大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程」は、廃止する。

附 則(平成 31 年 3 月 25 日大学規程第 31 号)

この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(令和 3 年 3 月 16 日大学規程第 15 号)

この規程は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(令和 4 年 4 月 1 日大学規程第 3 号)

この規程は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(令和 6 年 3 月 12 日大学規程第 16 号)

この規程は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。